千葉市産業振興財団主催

第5回ベンチャー・カップCHIBA

受賞企業決定

千葉市で翔く有望ベンチャー

千葉市産業振興財団（大野長年理事長）は新規性、独創性、実現性の観点からビジネスプランを表彰する「第5回ベンチャー・カップCHIBA」を開催した。27社の応募企業の中から事前審査を通過した5社が金融機関や企業関係者150人を前に事業プランを発表。自社の製品技術やサービスを積極的にプレゼンテーションした。

グランプリに輝いたのはバイク専用駐車場のFC展開事業を発表したスターリンク。道路交通法の改正以降、二輪の取り締まりが強化されたものの二輪向け駐車場の整備が遅れており、新たな土地活用法として参加者の注目を集めた。

ケー・エフ・シー、須山歯研、テクニカルブレインズ、リアルタイム・グラフィックスの4社が優秀賞を受賞した。

受賞楯と賞金を手にした受賞各者

グランプリ

スターリンク

スターリンク社長
長尾　泰治氏

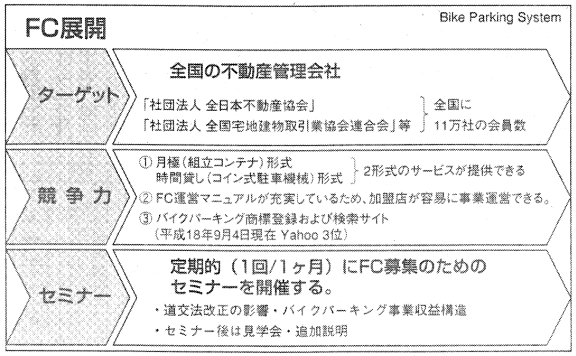
オートバイ用駐車場の管理運営事業
地域の安心や安全に配慮

スターリンクは不動産の活用、運用を提案するディレクション事業で05年に設立した。06年6月の改正道路交通法の施行により、駐車違反の取り締まりが強化されたのを受けて、自動二輪車（オートバイ）用駐車場の管理運営事業を提案した。地域の安心や安全に配慮したプランとなっている。

全国の自動二輪と原付きバイクの駐車取り締まりは05年は年間約10万件。03年に比べると約2倍の増加。盗難件数も03年で年間15万件を超す。にもかかわらず対応が間に合っていないのが現状。同社は住宅地向けの月極契約と、駅前や商業施設向けの時間貸しの2種類のサービスを展開する。フランチャイズチェーン（FC）運営とし、全国の不動産管理会社をターゲットとしている。

月極契約は住宅地の空き駐車場に、共同開発した組み立てコンテナを設置。自動車用駐車場2-3台分の土地に、コンテナは8-10基置ける。空き土地を持つ駐車場オーナーへの有効活用を促すこともできる。時間貸しはコイン式駐車機械を使う。

（千葉市中央区祐光4の18、043・201・1201）



契約し、一次募集は終了。08年10月には320社の加盟を見込む。今後は首都圏を中心に東海、近畿地区へも広げる。FC募集のためのセミナーを東京で開催し、理解を求める。利用者向けにはインターネットで検索できるシステムを導入している。

（千葉市中央区祐光4の18、043・201・1201）